大 声 測 定 器

今も昔も変わらぬイベントの定番

ユニークなテーマで叫んでみてください。ストレスも発散できます。

厳密な音圧を数値で表示でき最大値のみでなくリアルタイムでの測定も可能とします。

取 扱 説 明 書

2013年8月6日

〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話:(088)843-1601　携帯:090-3041-6033

WebSite:http://www.globe.to/shop/　E-Mail:shop@globe.to

ご利用のお客様へ

　弊社の機材レンタルサービスは、この取扱説明書を読み注意・約束を守ってご利用頂ける方を対象にしております。多機能なマシンを利用するにはそれなりの知識が必要です。この説明書には初めての方でも、簡単に利用できるように例を示して書いておりますので最後まで目を通してからご利用ください。

　当然の事ながら機械ですから乱暴な扱いや指示にない使い方をすると壊れることもあります。万が一トラブルがあって連絡を頂いても説明書を読んでいない方へのサポートには限界があります。また、電話を掛ければ、いつでもサポートを保障するといった体制は取っておりませんので事前に余裕を持ってテストし機械の扱いに慣れてください。いいイベントが出来ることをスタッフ一同願っております。

四国電飾工芸

注意事項

・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

・本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ず取扱説明書をお読みください。

・本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記入漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社までご一報ください。

・弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、本書の不審点や誤り、記載漏れに関わらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品の故障などにより、人身事故、火災事故、社会的な損失などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

ー 目 次 ー

1．はじめに

この度は大声測定器をご利用いただき、誠にありがとうございます。
製品の性能をフルに活用し、安全にお使いいただくために、この取扱説明書は必ずお読みください。

■安全にご利用いただくための重要事項

表示器は重量があるため転倒防止対策を施してください。配線に足を引っ掛けて転ぶことが無いように人の動きを予期して配線ルートの工夫やテープなどを使って固定してください。紙テープ（クラフトテープ）の利用は機材を汚すためお控えください。 屋外などで風の影響を受ける場所ではスタンドの利用をやめ長机の上に置く、スタンドを柱などに固定する等の万が一に事故に備えてください。

テレビ番組のようにスムーズな進行を行うためには、この機器の機能を理解して、司会者を含めリハーサルを行い本番のイメージをすることが大切です。特に参加者は一般人で思いもよらない行動をするので事前の説明だけでなく注意書きプレートなどを配置するなどして十分な安全対策に努めてください。

□ 使用上のご注意

- この取扱説明書に従い正しくやさしく操作してください。
- 取扱説明書を読まずに安易に電話で問い合わせをするのはやめてください。
- 機能を理解しないで操作すると想定外の事態に慌てることになります。
- 落とせば壊れることもあります。乱暴に扱わないでください。
- 取扱説明書の指示にない接続をすると壊れることもあります。
- 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所や高温になりやすい場所をさけ、なるべく日陰で通気性の良い場所でご使用ください。 熱反射シート等を利用して対策してください。
- 定格電圧 AC100V, 50/60Hz　500W です。
- 電圧の安定しない発電機でのご利用はお控えください。
- 電源の詳細については「■大切な電源について　Page.5」を参考にしてください
- 電源コードは機材への挟み込みなど、無理な力が加わらないようご注意ください。
- 異常な音やにおいが発生した際は、利用を中止し電源コードをコンセントから抜いてご連絡ください。
- 長時間利用しない場合、電源を切り電源コードもコンセントから抜いてください。
- 故障や感電事故を防止するとともに、性能を維持するためにも絶対にケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理・改良が必要なときには事前に許可を得てください。

2．大切な電源について

- 電源には家庭等で使われる「一般電源」をはじめ会館などで照明電源として用いる「調光電源」、ほかにも祭りなど仮設会場で使われる「発電機による電源」などいくつかの種類があります。「一般電源」以外でも調節により 100V 50Hz/ 60Hz を供給することができます。ただし、タコ足配線や長いコードで接続すると本来の電圧が得られなくなり機器が正常に動作しない場合があります。

- 電線には抵抗があるので負荷（機器）を接続して電流を流すと電圧を降下させます。実際の電圧は負荷を接続した状態で測る必要があります。テスターで 100V（無負荷電圧）あっても電球を点灯させたりすると電線の抵抗により機器側では電圧は降下します。それを防ぐには流す電流は少なくして短く太く接続箇所を少なく接続する必要があります。

- 例えば、お祭り会場などで電気ドラム30mを３本つないで90mで機器を接続した場合に動作しない。これも大声測定器専用の電源であれば負荷（電気使用量）が小さいので殆ど問題はありません。しかしちょうちん電球やホットプレートなどと一緒に使用すると元のコンセントでは100Vあっても90m離れた場所では80V以下となることがあります。

30mの電気ドラムを３本つなぐと・・・

- 特に古い発電機の中には電圧変動が大きなものやノイズが加わり正常の動作しないこともあります。

- 会館の壁コンセントは「一般電源」ですが照明を明暗させるための調光電源では100%フルで送っても波形が乱れた電源しか供給できないものもあります。壁から直接の電源でない限り念のために会館職員に「パソコンなどを使っても大丈夫か？」と確認を取って利用することをお勧めします。

- 電子機器には正しい電気を送るよう細心の注意が求められます

3． 各機器の梱包

<table>
<tr><td>
運搬用箱2個</td><td>
両手で真上に持ち上げる</td><td>
上部カバーを取る</td></tr>
<tr><td>
取手を持って取り出す</td><td>
二人でスタンドへ乗せる</td><td>
表示部完成</td></tr>
<tr><td>
卓小物箱</td><td>
内容</td><td>●表示機収納ケース
表示機のみ
（白色LEDまたは赤色LED）

●操作卓・小物収納ケース
操作卓：1台
騒音計ユニット：1台
スタンド：2本
ケーブル：3本</td></tr>
</table>

４． 機能の紹介

【機材全体の画像】

●計測タイミングを知らせるブザー＆LED（騒音計ユニット）

参加者が大声を出すタイミングを光と音でフォローする機能

●予選モード

設定したレベル以上の大声を予選通過とする機能

●リアル計測表示／ランダム数値表示

リアル：計測中の値をそのまま表示 ／ ランダム：計測中にランダムな数字を表示

●カウントアップ表示／一発表示

測定値をゼロから上昇変化しながら演出表示 ／ ボタン一発で即発表表示

●自動計測モード

ボタン１つで準備からリセットまで自動的に移行する機能

●最高得点記憶機能

最高得点を記憶し表示する機能

●操作禁止機能、通信モニター、最高得点更新アクション

操作性や演出性を上げる様々な機能

5．基本セットの内訳

(1) 表示機： 1台
(2) 騒音計ユニット： 1台
(3) 操作卓： 1台
(4) 表示機スタンド： 1台
(5) 騒音計スタンド： 1台
(6) 表示器電源コード：1本
(7) 操作卓⇔騒音計ユニット通信ケーブル 15m ： 1本
(8) 操作卓⇔表示機通信ケーブル 15m ： 1本
(9) マニュアル　機材チェックシート：各一部

6．機材の紹介

＜表示機＞

＜騒音計ユニット＞

＜操作卓＞

＜スタンド2種類・電源コード＞

＜通信ケーブル　左：表示機　右：騒音計ユニット＞

７．機器の接続（全体図）

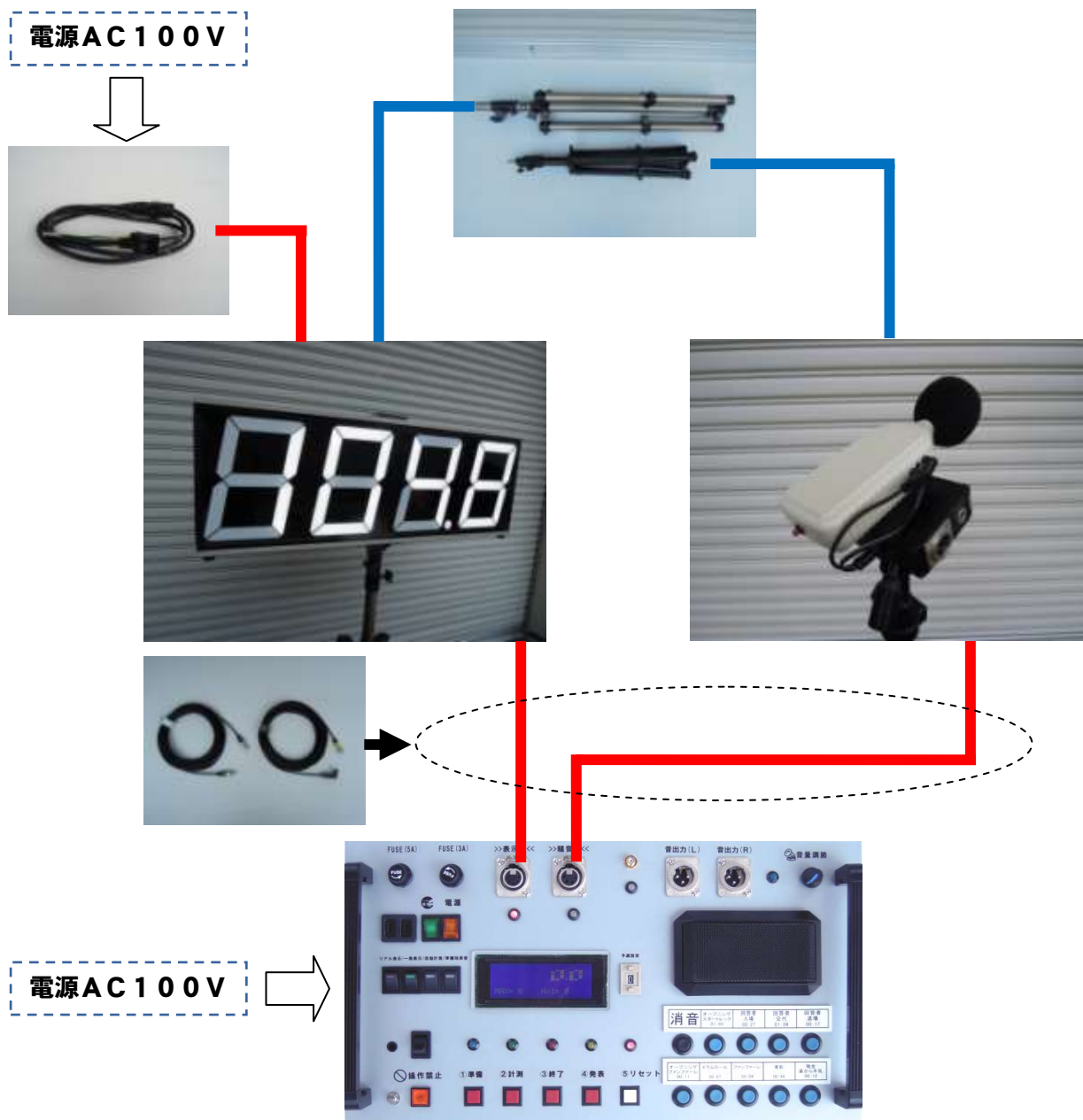
①：操作卓、騒音計ユニット、表示機の設置場所をケーブルの長さや電源の位置を考慮して決める

②：操作卓と表示機へ電源 AC100V を準備する。操作卓は専用ケースに入れたままで使用する。

③：騒音計ユニットと表示機を各専用のスタンドへ取り付ける

④：操作卓⇔騒音計ユニットを通信ケーブル（キャノン４Ｐｉｎ１５ｍ　コネクタ部黄色）で接続

⑤：操作卓⇔表示機を通信ケーブル（キャノン５Ｐｉｎ１５ｍ　コネクタ部緑色）で接続

　※通信ケーブルにはオスメスの区別があるので操作卓側へオスを接続してください

8.1 機器の接続（個別）

 ＜操作卓＞	
 ＜表示機ウラ面＞	 ＜表示機へ5Pin 通信ケーブルと電源を接続＞
 ＜表示機電源コード＞	 ＜（左）5Pin・（右）4Pin 通信ケーブル＞
 ＜騒音計ユニット＞	 ＜騒音計ユニットへ4Pin 通信ケーブルを接続＞

８．２ キャノンコネクタの接続方法

＜通信ケーブルの接続＞
カチっと音がするまで差し込む

＜通信ケーブルを外す＞
金具ピンを押しながらプラグを抜く

＜効果音出力へケーブルの接続＞

＜効果音出力へケーブルを外す＞
金具ピンを押しながらプラグを抜く

＜表示機通信5Pin ケーブル＞　＜騒音計ユニット通信4Pin ケーブル＞

９．１　設置方法（騒音計ユニット）

 ①右手部のネジをゆるめる	 ②両手で下部を持って広げる
 ③脚を適度に広げてネジを締める	 ④騒音計ユニットを差込み、ネジを締める
 ⑤右手部のネジをゆるめ騒音計ユニットの高さを調節	 ⑥ウインドスクリーンを付ける

９．２ 設置方法（表示機）

①右手部のネジをゆるめる

②脚を持って広げる

③適度に広げる

④ネジをしっかり締める

 ⑤ネジを確認	 ⑥高さ調節：黄ラインは注意　赤は危険
 ⑦アタブタのネジをゆるめる	 ⑧表示機を抱えて（無理せず二人で）
 ⑨スタンドへ載せる	 ⑩各部のネジを締める
 ⑪ブロック等を利用して転倒防止に務める	 ⑫ゴム紐等を利用して固定物へとめ転倒防止に務める

９．３ 設置方法（スタンド注意事項）

※危険回避！

表示機は金属製の重量物（約22kg）です。万が一でも転倒した場合、人に当たれば大きな事故につながることが予想されます。周囲の状況を考慮しスタンドの高さや設置方法を決めてください。また、風の影響を受けるような場所ではオモリやゴム紐等を利用し転倒しないような対策を施してください。画像にあるような長机の上に配置することも一つの方法です。表示機へ通信ケーブルと電源コードの2本接続します。コードに足を引っ掛け表示機を転倒させることが無いように配線経路や配線養生を工夫してください。

	 ＜長机に載せた表示機＞
 ＜広げた脚が狭いため不安定な状態＞	 ＜適当の広さ＞
 ＜片付けの際の間違い（長くなりケースに収まらない）＞	 ＜片付けの際の間違い（長くなりケースに収まらない）＞

騒音計ユニットまでの距離を一定に保つために足元にラインを引いている
表示機は操作卓オペレーター、司会者、参加者、観客から見える位置へ配置する

１０．動作の確認方法（電源投入）

① 全ての接続を完了させる
② 表示機の電源（オレンジ色スイッチ）を投入する。
③ 操作卓の電源（オレンジ色スイッチ）を投入する。
騒音計後部の赤色LEDが点灯する

１１．騒音計ユニットの設定方法

騒音計本体の変更に伴い“設定は一切不要”となりました。

このマニュアルでは一部写真に旧騒音計写真を利用しておりますが新騒音計に置き換えてご覧になってください。

旧型騒音計

新型騒音計

●信号入出力（キャノン 5Pin）
操作卓へ4Pin ケーブルで接続
●電源入力（未利用）

●LED5個（常時レベル点灯）
緑1：70dB　緑2：80dB　緑3：90dB
黄：100dB　赤：110dB

●LED2個（同じ動作）
①準備：赤点滅　●●●●
②計測中：緑点灯　●
③計測終了：消灯　●

１２．動作の確認方法（表示機）

【表示機のウラ面】

【表示機の接続パネル】

① 設定スイッチ[0]利用モードを確認する。

② 電源スイッチ(オレンジ色スイッチ)を投入する。

③ 液晶画面左側のLED点灯はすべて消灯

※液晶表示が乱れることがありますが測定値に影響はありません。気になる場合は電源を一度入れ直してください。

※表示器テストモード　(表示に問題が無ければ使用しなくてもよい)

設定スイッチを[1]へ切り替える　　赤色LED点灯

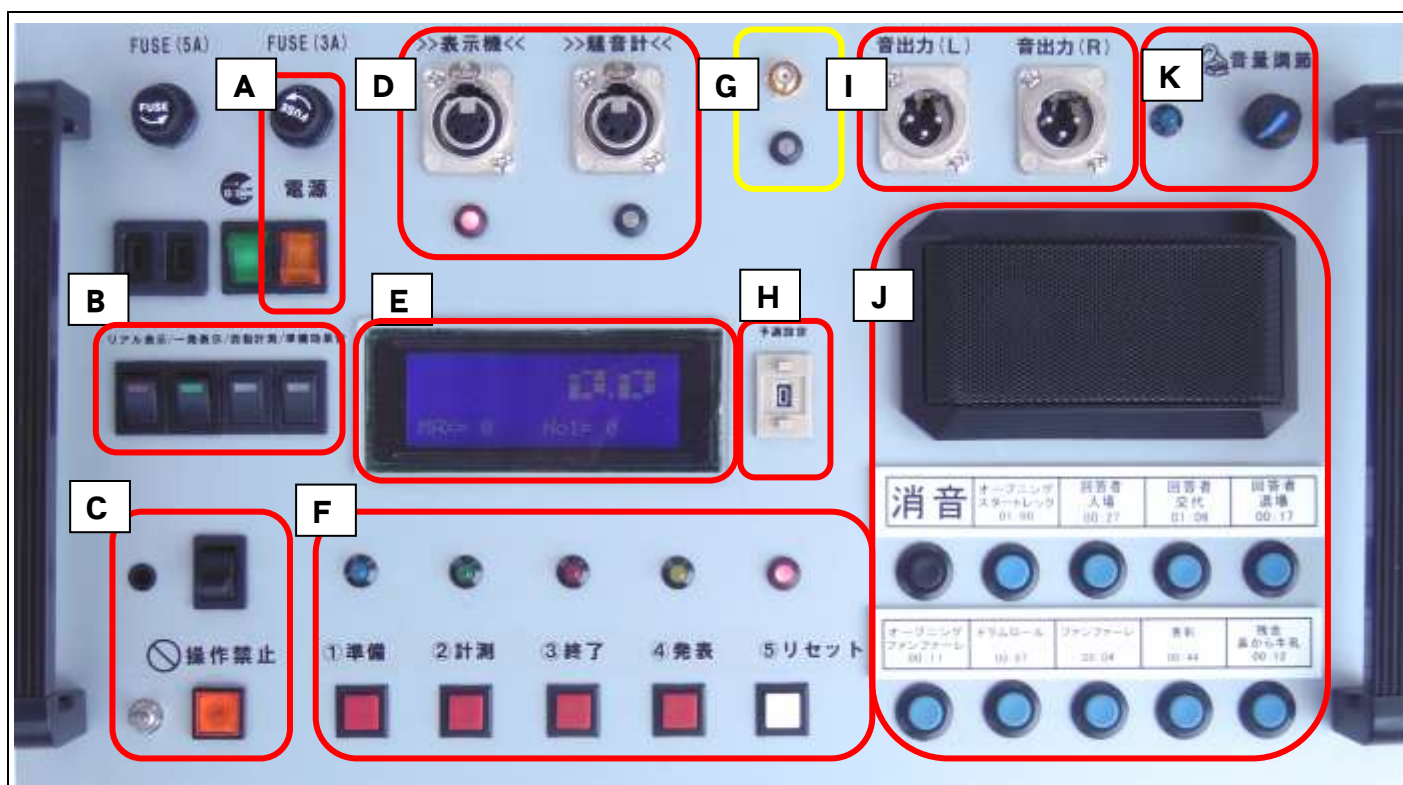
表示テストモードは[0. 0. 0. 0.]→[1111]→[2. 2. 2. 2]→[3333]→と数字を変化させる

ドットについては、大声測定器では不要な桁のドットは隠している。

液晶表示は[0. 0. 0. 0.]は[　　　0. 0]と表示

液晶表示は表のLED表示とは同期していない[　　0. 0]→[2222]→[4444]等の表示で問題はありません。

表示に問題なければ設定スッチを[0]の位置へ！　※現在[1]以外の数字は全て利用モードになっています。

１３．１ 操作卓パネルの説明

【A】－ ［電源スイッチとヒューズ］ AC100V コンセントへ接続 FUSE は 3A
【B】－ ［設定スイッチ］ 表示方法などの設定
【C】－ ［操作禁止・液晶画面調整］ 不用意な操作を防ぐスイッチ
【D】－ ［通信］ 表示機へ４Pin コードで接続 騒音計へ５Pin コードで接続
【E】－ ［液晶表示画面］ 騒音レベルなどを表示
【F】－ ［操作ボタン］ ゲームの操作ボタン
【G】－ ［未設定］
【H】－ ［予選設定］
【I】 － ［効果音］ 出力 （L：左・R：右）
【J】 － ［効果音］ 効果音の選択とスピーカー
【K】 － ［効果音］ 音量調節

１３．２ 設定方法（操作卓）

 	【電源スイッチ】 オレンジ色 起動には電源を入れて0．5秒掛かります。 【設定スイッチ】 A：（赤LED）：ランダム数値表示（OFF側）／リアル計測値表示（ON側） B：（緑LED）：カウントアップ表示（OFF側）／一発表示（ON側） C：（黄LED）：自動計測モードOFF／ON D：（黄LED）：準備効果音の消音 ON／OFF ● ランダム数値表示：計測中はランダムな数字が回転 ● リアル計測値表示：計測中は騒音計の値を表示 ● カウントアップ表示とは：ゼロから最大測定値へ数字が上昇表示 ● 一発表示とは：即発表 ● 自動計測モード：準備から自動的に計測、終了、発表、リセットへ移行 ● 準備効果音：準備のボタンで鳴る効果音
 	【予選設定】“利用は自由” 事前にプリセットされているレベル値（70 dB、80 dB、90 dB、100dB、110 dB）を超えると予選通過効果音（おめでとう的な音）、超えない場合は予選不通過効果音（ざんね～ん的な音）が鳴る。設定レベル値は操作卓の液晶画面で確認することができる。 予選モードを利用しないときは、スイッチは「0」の位置へ
 	【操作禁止機能】“利用は自由” 操作禁止スイッチをONにすると、設定スイッチ、予選設定を除く全ての機能（効果音を含む）の操作を禁止にすると同時に⑤リセット状態で待機となります。この機能は、準備中等にオペレーターが誤ってボタンを操作することを防ぎます。 【液晶表示】液晶画面の文字が見えにくい場合に調節するボリューム

１３．３ 操作ボタンと動作

【制御系操作ボタン】

【① 準備】:効果音①(設定D＝ON/OFF 可)、騒音計(赤LED2度点滅)(ブザーが二度鳴る)
【② 開始】:計測開始。(設定A)による表示アクション、騒音計(緑LED点灯)
【③ 終了】:計測終了。表示器消灯、騒音計(緑LED消灯)
【④ 発表】:計測値発表。効果音 (設定B)による表示アクション
【⑤ リセット】:表示(0.0)
【⑤ リセット】:(2秒長押):最大値記憶の消去
リセットLEDは最大値が記録されると●赤色で点灯 消去されると●緑色で点灯

最大値記憶は電源を切るとデータは消去されます。

最高値を更新すると更新効果音と表示器点滅アクションで派手に演出
※データが空の状態で始めると最初の測定者は最高値アクションとなります。

ゲーム進行上の誤操作を防ぐために、現在の状態から次に押せるボタンを制限しています。

	①準備	②開始	③終了	④発表	⑤リセット	←押したボタン
①準備	▼▼▼	◇	◇	◇	●	
②開始	●	▼▼▼	◇	◇	●	
③終了	◇	●	▼▼▼	◇	◇	
④発表	◇	◇	●	▼▼▼	●	
⑤リセット	●	●	●	●	▼▼▼	
↑次に押せないボタン						

(▼▼▼＝現在動作中 ●＝押せる ◇＝押せない 例)①準備を押したら次に③終了は押せない)

１３．４ 液晶画面（操作卓）

①騒音計接続確認（点滅）　②表示器の数値

Mic　816.2

MAX= 960　No1= 1023

③計測中の最大値　④これまでの最大値

MIC Power OFF

⑤騒音計の電源が OFF

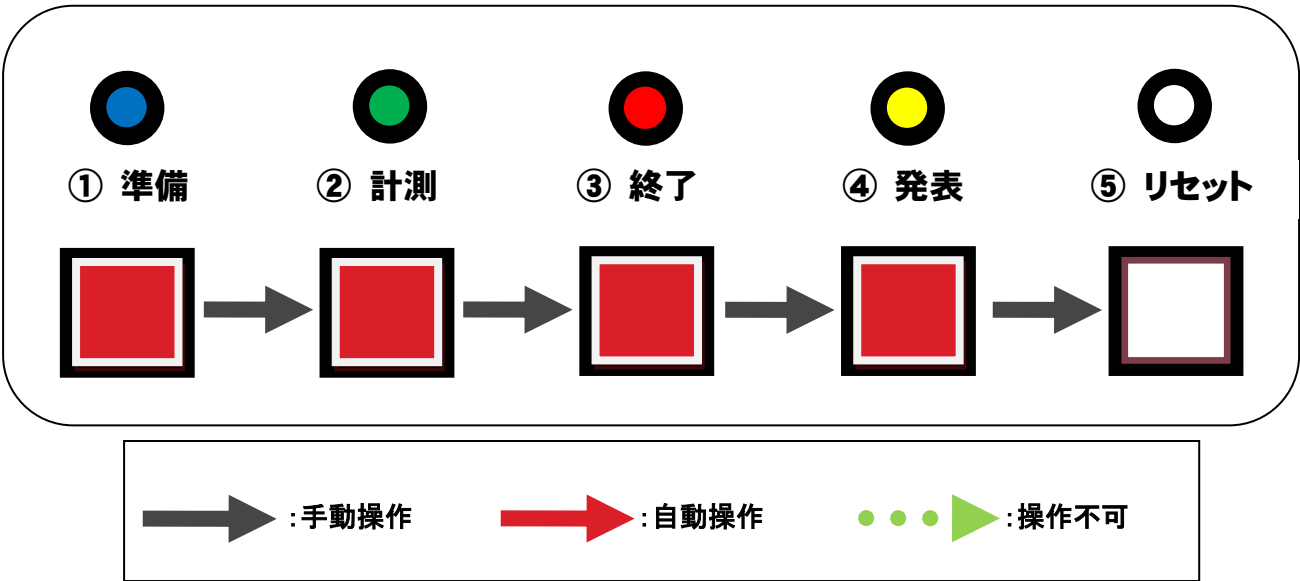
MAX= 960　No1= 1023
1: YosenLevel=　70db

⑥予選モード　予選通過レベル値

①：MIC＝（騒音計）、騒音計との通信状態を点滅表示　切断の場合は非表示
②：表示機へ出力する値
③：現在の計測最大値
④：これまでの計測最大値（最初はゼロ、計測中に過去の値を更新すると同時に数値も更新）
⑤：騒音計の電源が OFF となった場合に表示
⑥：予選モードの表示と予選レベル値

液晶画面のコントラスト調整

文字が薄い場合など見えくい場合にボリュームを調節してください。

１４．１ 利用方法　①手動モード

特徴：自由なタイミングで操作することができます。

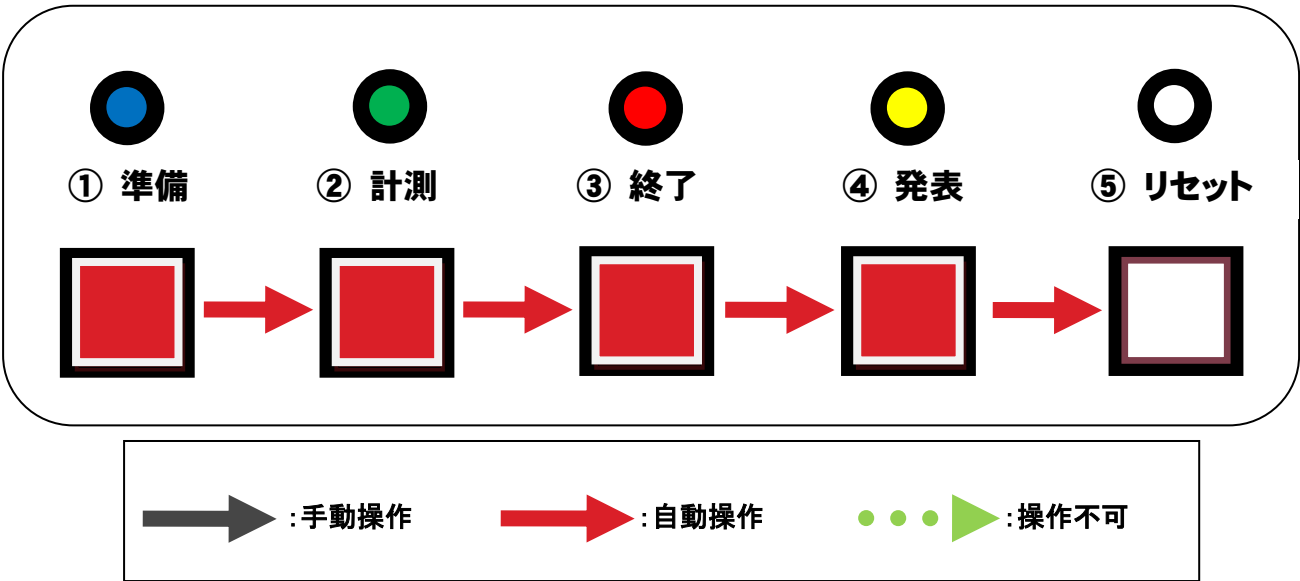
操　作	内　容
①準備	効果音鳴る→騒音計（赤色 LED2回点滅 ●●●● ブザー）、表示は消灯
②計測	騒音計（緑色 LED 点灯 ●）→設定Aに従い表示
③終了	表示は消灯→効果音鳴る→騒音計（緑色 LED 消灯 ● ブザー）
④発表	効果音鳴る→設定 B に従い表示
⑤リセット	表示は[　00]

【注意事項】

①準備ボタンは必ずしも利用する必要はありません。

①準備から②開始への操作タイミングは騒音計ユニットで鳴るブザー音を計測しないようにするために、一定の間隔をあけるようにプログラムされています。

各操作系ボタンは現在の状態から次に押せるボタンは誤操作防止のために操作制限しています。

１４．２利用方法　②自動モード

特徴：1つのボタン操作で簡単にゲームを行えます。

操　作	内　容
①準備	効果音鳴る→騒音計（赤色 LED2回点滅 ●●●● ブザー）、表示は消灯
計測	騒音計（緑色 LED 点灯 ●）→設定Aに従い表示　**※計測時間：約3秒間**
終了	表示は消灯→効果音鳴る→騒音計（緑色 LED 消灯 ● ブザー）
発表	効果音鳴る→設定 B に従い表示　**※約5秒後にリセットへ**
リセット	表示は[　 00]

①準備ボタンだけでゲームをすることができます。
②計測から③終了まで時間は固定（約 3 秒）で変更できませんが、間延びする場合は手動で③終了を押してください。

【注意事項】
①準備から②開始への操作タイミングは騒音計ユニットで鳴るブザー音を計測しないようにするために、一定の間隔をあけるようにプログラムされています。

自動モード利用時でも手動のように次に押すボタンを手動操作することもできます。

各操作系ボタンは現在の状態から次に押せるボタンは誤操作防止のために操作制限しています。

１４．３利用方法　③予選モード

予選設定スイッチは数字の上下にある出っ張りを押しこむことで設定値を変更可能

① 操作卓液晶画面の横にある予選設定スイッチ[1][2][3][4][5]で予選モードON
② [1]:70 dB、[2]:80 dB [3] 90 dB [4] 100 dB [5] 110 dB
③ 設定値を超えると予選通過効果音（おめでとう的な音）が鳴る。
④ 超えない場合は予選不通過効果音（ざんね～ん的な音）が鳴る。
⑤ 設定レベル値は操作卓の液晶画面で確認することができる。

予選モードを利用しないときは、スイッチは「０」の位置へ

自動モード、手動モードとも利用可能

【注意事項】
①準備から②開始への操作タイミングは騒音計ユニットで鳴るブザー音を計測しないようにするために、一定の間隔をあけるようにプログラムされています。

自動モード利用時でも手動のように次に押すボタンを手動操作することもできます。

各操作系ボタンは現在の状態から次に押せるボタンは誤操作防止のために操作制限しています。

１５. 効果音

この大声測定器の操作卓には 16 種類の効果音があらかじめ記憶されています。
オプション対応で効果音の内容を変更することができますので必要な方は事前にご相談ください。

操作卓内蔵スピーカーの音量はスピーカー上部の音量調節つまみで適音にしてください。

効果音作動中は青ＬＥＤが点灯します。

【消音】上段左端のボタンを押すことで鳴っている効果音を停止させることができます。

会場の音響設備や持ち込みの音響設備へ効果音をステレオ出力することができます。　効果音のライン出力はキャノン３Ｐ（オス）１番：グランド　２番：ホット　アンバランス出力　レベルは固定　フルスケールで 1Vp-p　出力インピーダンス 51KΩ（不平衡）

スピーカーの音量調節で音出力のレベルを調節することはできません。　効果音をフェードアウトしたい場合は音響設備側で行ってください。

外部機器への接続資料

機器	ケーブル	コネクタの形状
ミキサーへの接続	キャノン 3P オスメスコード	
ギターアンプへの接続	キャノン 3P メス-フォーン	
有線マイクで直接集音	キャノン 3P メス-フォーン	

■効果音　演出系（ボタンスイッチで操作）

対応	内容	時間	ファイル名
オープニング	スタートレックのテーマ	1分	ST9U0008.MP3
回答者入場		27秒	ST9U0009.MP3
回答者交代		1分5秒	ST9U0010.MP3
回答者退場		17秒	ST9U0011.MP3
オープニングファンファーレ		11秒	ST9U0012.MP3
ドラムロール		7秒	ST9U0013.MP3
ファンファーレ		4秒	ST9U0014.MP3
表彰		44秒	ST9U0015.MP3
残念	鼻から牛乳	12秒	ST9U0016.MP3

■効果音　操作系（ゲームの進行に合わせて自動的に鳴る）

対応	内容	時間	ファイル名
①開始	ダダダダーン！	1 秒	ST9U0001.MP3
②開始	無音		
③終了	ジャジャジャジャン！	1 秒	ST9U0002.MP3
④発表	軽快な曲	8秒	ST9U0003.MP3
発表　→　得点停止	パッカカパー♪	2 秒	ST9U0004.MP3
発表　→　得点更新	派手な曲	2 秒	ST9U0005.MP3
予選モード（通過　）	おめでとう	2 秒	ST9U0006.MP3
予選モード（不通過）	ざんね～ん	2 秒	ST9U0007.MP3

演出系効果音はゲームの進行に関係なくいつでも鳴らすことができます。

効果音は後で押したボタンが優先となります。例）②発表ボタンを押して効果音が鳴っている最中にファンファーレや消音などの演出系効果音ボタンを押すとゲームは継続のままで効果音は入れ替わります。ゲーム進行中は不用意にボタンに触らないようにしてください。

全ての効果音は操作禁止スイッチがONの状態では利用できません。

【技術資料】

音素材　USBメモリ　→　SST900U フォルダ　→　ST9U0001.MP3～ST9U0016.MP3

※音素材転送中は効果音 LED（青）が点灯　→　転送完了後に消灯　→　電源再投入

１６. カラーフィルタ

 ＜フィルターなし　白＞	イベントのイメージに合わせて演出することができます。 希望される場合は事前にご相談ください。
 ＜オレンジフィルター＞	 ＜ブルーフィルター＞

１７. 機材の寸法と重量

●梱包箱のサイズと重量

1つの箱のサイズ	1240mm×260mm×550mm
操作卓収納ケース	重量：20kg
表示機収納ケース	重量：30kg

●各機器のサイズなど

表示機	横幅：1060mm×奥行：170mm（150mm）×高さ：370mm　突起物は除く ※奥行寸法の違う二種類（170mm と150mm）があります。
表示機スタンド	最短高：1170mm　最長高：1470mm　表示機下部までの高さ
騒音計ユニットスタンド	最短高：760mm　最長高：1270mm　騒音計ユニット下部までの高さ
操作卓トランク	横幅：470mm×奥行：350mm×高さ：180mm　突起物は除く

※寸法は実測したものですがモノや扱い方によっては多少の差がありますことをご了承ください

１８．あと片づけの注意

■お願い

- **コードは巻かずにそのまま箱へ入れてください。**
- チェックシートで数量を確認して受取時のように梱包してください。
- ご意見、ご希望、ご感想などありましたらチェックシートへ
- 商品に不具合等があった場合はメモ書きなど入れて頂けると幸いです。

コードを痛めないために

“コードは巻かず”にそのまま箱へ入れてください。

この巻き方は絶対にしないで！

１９. 機材チェックシート（見本）

ー　大声測定器　機材チェックシート　ー

- この度は、大声測定器のご利用ありがとうございます。
- 最初に機材数を確認して取扱説明書に従いお取扱ください。
- **利用後のケーブルは巻かずに返却してください。**
- 不明な点がありましたら　090-3041-6033　岡　までお願いします。

レンタル先：	お届け予定日　　：　年　月　日 ご 利 用 日　　：　年　月　日 返却発送日(厳守)：　年　月　日

品　名	基本数（追加数）	発送確認	受取確認	発送確認
操作卓	１台（　）			
表示機（アタブタ付・電源コード）	１台（　）			
騒音計ユニット・プラ箱	１台（　）			
表示機スタンド	１本（　）			
騒音計ユニットスタンド	１本（　）			
通信 4Pin　ケーブル　15m	１本（　）			
通信 5Pin　ケーブル　15m	１本（　）			
マニュアルー部（要返却）	一冊（　）			
運送伝票	１枚（　）			
運搬用通函	２個（　）			
荷締めベルト（黒）	２本（　）			

動作確認				
見た目の異常				
（具体的に記入）				

アンケート　　とても満足・満足・普通・不満・とても不満　（○で囲む）

- **ご意見、ご希望、ご感想などありましたらご記入ください。**

２０. よくある質問と答え

大声測定器以外に必要なものは何でしょうか

操作卓と表示機へそれぞれ電源（100Ｖ）、電気ドラムや延長コード

騒音計までの距離を一定に保つためのライン、得点を書き込む紙やマジックペンなど小道具

スムーズに進行させるために気を付けることは

他の催しと同じステージで大声測定を行う場合は、事前に表示機、騒音計ユニット、ラインなどの位置を決めビニルテープなどでマークします。表示機は本体だけで２０kgを超える重さがありますのでスタンドに載せたままでの移動は危険です。可能であれば事前に設置することがベストですがステージ転換で準備する場合は、スタンドに一人、表示機に二人、ケーブルに一人の４人態勢で作業してください。スタンドを利用しないでキャスター付きの長机を利用すると転換は楽に行えます。

いつ最大値は計測されるのですか

計測開始から終了までの間の最大値で、その間の平均値ではありません。一時的にでも大きな声を出したらその値を最大値として計測することになります。

騒音計ユニットと参加者との距離はどのくらいがいいですか

身長のあるなしで騒音計ユニットとの距離は変化しますので大人の部と子供の部で高さは調節した方がよいと思います。一般的な測定には音の発生源から １ メートルの距離をおいて何デシベルという計測方法が用いられます。大声測定はあくまでもゲームですので実際に大きな声の人に叫んでもらって１００デシベル前後になる距離がよいかと思います。次回も同様のイベントを行う場合にはマイクとの距離を記録して同じにすると比較することができます。

騒音計ユニットの向きで測定結果がどの程度影響されますか

騒音計ユニットのマイクは無指向性マイク（どの方向からの音も集音する）になりますのである程度口元へ向けておくことで計測に問題はありません。距離が変わると測定結果に大きな影響を与えるため、参加者間で公平を期すためには口元から騒音計ユニットまでの距離は一定に保つ必要があります。

会場の設備が分からないので接続できるか不安

万が一、接続コードの形状などが合わずに接続できない場合は、操作卓のスピーカーへワイヤレスマイクなどのマイクを直接向けることで緊急対応は可能です。

ライン出力からスピーカーへ接続できますか

ライン出力はミキサーやアンプ、アンプ付きスピーカー等へ出力するためのレベル（音の大きさ）しかないため。直接スピーカーを接続して鳴らすことはできません。

効果音を鳴らさないで使用したい

音量調節でゼロにしてください。

通信ケーブルの延長はできますか

事前にご相談ください。４５ｍでの実績はあります。

ウインドスクリーンは何のため

風の音を誤って測定することから防ぐためのもので常に付けておいて問題はありません。

転倒防止対策

ブロックなどのおもりとゴム紐でスタンドを下方向へ引っ張る

測定値をリアルタイムで表示させたい

設定スイッチ（リアル表示ＯＮ）（自動計測ＯＦＦ）、②計測ボタンを押してください。

表示の明るさを落とすことはできますか？

できません。フィルターなどを利用して減光する方法が有効

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

四国電飾工芸

電話　　(088)843-1601

携帯電話　090-3041-6033　または　090-2824-7698

７セグ４ケタ　ＬＥＤ表示器（表面）

白色LED仕様　サイズ　横:1060mm　縦:370mm　奥行:150mm　重量:21 kg

赤色LED仕様　サイズ　横:860mm　縦:340mm　奥行:130mm　重量:10 kg

７セグ４ケタ　ＬＥＤ表示器（裏面）

白色LED仕様　屋内向き　防適仕様ではありません。

赤色LED仕様　屋外･屋内向き　防適仕様ではありません。